

新型コロナウイルス感染症の治療に従事した 臨床工学技士の実態調査

アンケート調査期間：2020年10月1日～11月15日

回答数：1,688

調査・統計委員会

- I. 回答者の基本属性
- II. 新型コロナウイルス感染症の治療環境
- III. 新型コロナウイルス感染症の治療に対する各業務量の変化
- IV. 寄せられたご意見

I. 回答者の基本属性

問1. 所属する都道府県技士会の都道府県名を記載してください。(例：東京都, 福岡県, 北海道)

(有効回答数 1,678)

1. 本調査の目的

コロナ禍における臨床工学技士の活動を把握し、課題を抽出し、今後の活動に反映する。

2. 調査の範囲及び対象

全国、日本臨床工学技士会 正会員の所属施設、1施設1回答を所属長または責任者に回答いただいた。

3. 有効回答数

有効回答数：1,688件

4. 調査事項

- 1) 回答者の基本属性
- 2) 新型コロナウイルス感染症の治療環境
- 3) 新型コロナウイルス感染症の治療に対する各業務量の変化

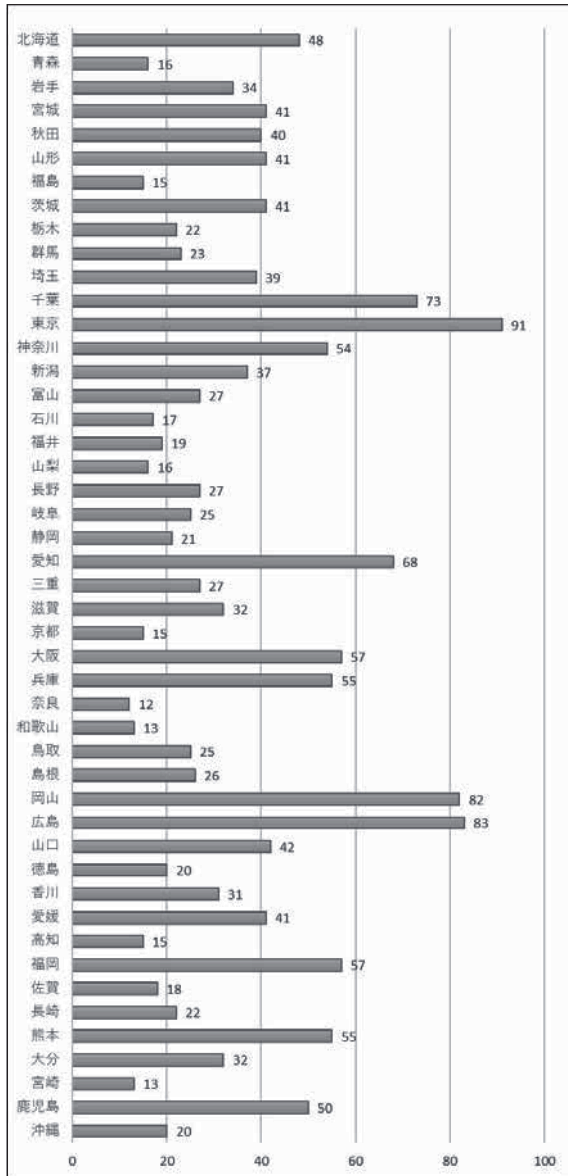
5. 調査の時期

2020年10月1日から2020年11月15日までの間に行った。

6. 調査方法

日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-プリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。

項目	n数	割合
北海道	48	2.9%
青森	16	1.0%
岩手	34	2.0%
宮城	41	2.4%
秋田	40	2.4%
山形	41	2.4%
福島	15	0.9%
茨城	41	2.4%
栃木	22	1.3%
群馬	23	1.4%
埼玉	39	2.3%
千葉	73	4.4%
東京	91	5.4%
神奈川	54	3.2%
新潟	37	2.2%
富山	27	1.6%
石川	17	1.0%
福井	19	1.1%
山梨	16	1.0%
長野	27	1.6%
岐阜	25	1.5%
静岡	21	1.3%
愛知	68	4.1%
三重	27	1.6%
滋賀	32	1.9%
京都	15	0.9%
大阪	57	3.4%
兵庫	55	3.3%
奈良	12	0.7%
和歌山	13	0.8%
鳥取	25	1.5%
島根	26	1.5%
岡山	82	4.9%
広島	83	4.9%
山口	42	2.5%
徳島	20	1.2%
香川	31	1.8%
愛媛	41	2.4%
高知	15	0.9%
福岡	57	3.4%
佐賀	18	1.1%
長崎	22	1.3%
熊本	55	3.3%
大分	32	1.9%
宮崎	13	0.8%
鹿児島	50	3.0%
沖縄	20	1.2%
合計	1678	100%

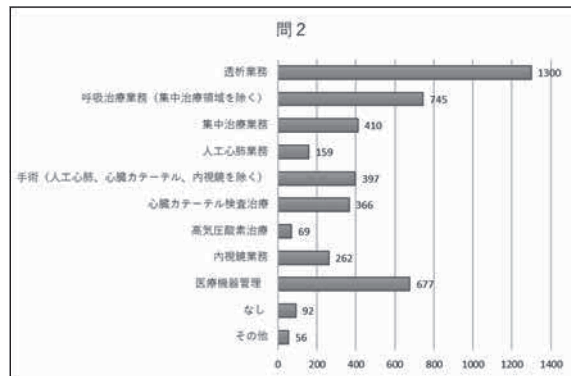


II. 新型コロナウイルス感染症の治療環境

問2. 新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の対策を講じた業務を選んでください。（複数選択可）

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
透析業務	1300	28.7%
呼吸治療業務（集中治療領域を除く）	745	16.4%
集中治療業務	410	9.0%
人工心肺業務	159	3.5%
手術（人工心肺、心臓カテーテル、内視鏡を除く）	397	8.8%
心臓カテーテル検査治療	366	8.1%
高気圧酸素治療	69	1.5%
内視鏡業務	262	5.8%
医療機器管理	677	14.9%
なし	92	2.0%
その他	56	1.2%
合計	4533	100%



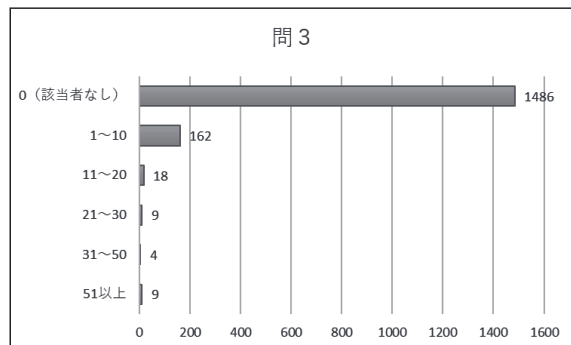
解説

対策を講じた業務として、透析業務（28.7%）、呼吸治療業務（16.4%）、医療機器管理業務（14.9%）が多い。受け入れのない施設でも各業務の対策を講じている。

問3. 新型コロナウイルス感染症に感染、濃厚接触者となり出勤停止となったスタッフの延べ人数を選んでください。（日数×人員）

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
0（該当者なし）	1486	88.0%
1～10	162	9.6%
11～20	18	1.1%
21～30	9	0.5%
31～50	4	0.2%
51以上	9	0.5%
合計	1688	100%



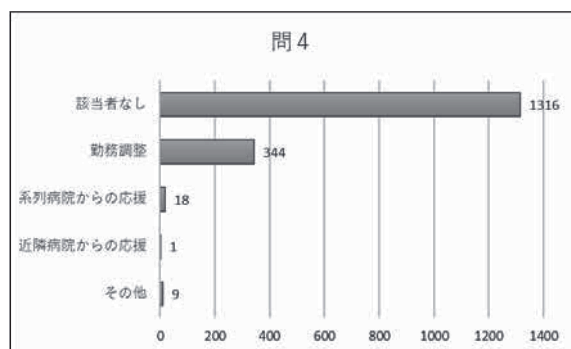
解説

88%の施設は該当者なしである。一方で12%の施設で出勤停止が発生した。一方で延べ人数51名以上が9施設0.5%あった。

問4. 実際に新型コロナウイルス感染症に感染、濃厚接触者となり出勤停止となったスタッフがいた場合の対応を選んでください。 ※応援した場合を含む

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
該当者なし	1316	78.0%
勤務調整	344	20.4%
系列病院からの応援	18	1.1%
近隣病院からの応援	1	0.1%
その他	9	0.5%
合計	1688	100%



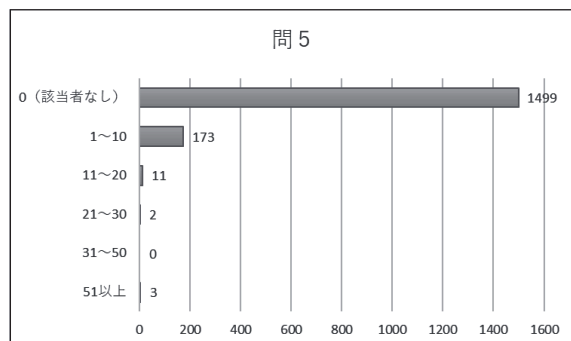
解説

勤務調整で20%の施設は対応している。系列病院からの応援は1.1%、近隣病院からの応援は1施設ある。

問5. 保育園等受け入れ拒否により休暇となったスタッフの延べ人数を選んでください。(日数×人員)

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
0 (該当者なし)	1499	88.8%
1~10	173	10.2%
11~20	11	0.7%
21~30	2	0.1%
31~50	0	0.0%
51以上	3	0.2%
合計	1688	100%



解説

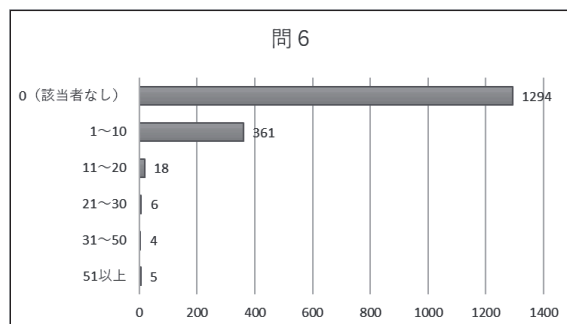
保育園の受け入れ拒否により休暇となったスタッ

フの延べ人数は、該当なしが88.8%、1~10名が10.2%と多い。一方で51名以上は3施設ある。

問6. 休園、休校などにより休暇となったスタッフの延べ人数を選んでください。(日数×人員)

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
0 (該当者なし)	1294	76.7%
1~10	361	21.4%
11~20	18	1.1%
21~30	6	0.4%
31~50	4	0.2%
51以上	5	0.3%
合計	1688	100%



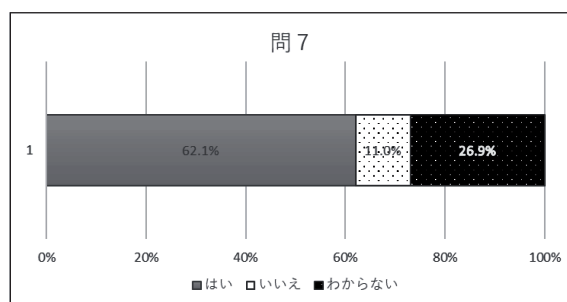
解説

休園、休校などにより休暇となったスタッフの延べ人数は、該当なしが76.7%、1~10名が21.4%と多い。一方で51名以上は5施設ある。

問7. 治療の必要度に応じて災害派遣等に準じる形で臨床工学技士の派遣は必要だと思いますか？

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1048	62.1%
いいえ	186	11.0%
わからない	454	26.9%
合計	1688	100%



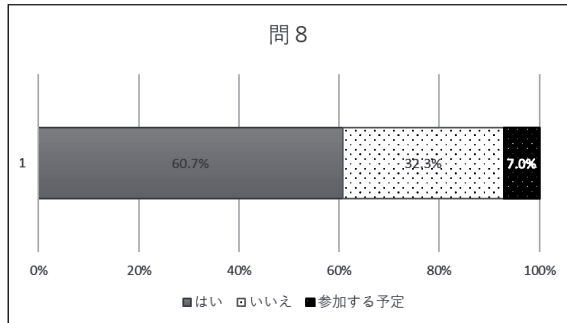
解説

臨床工学技士の派遣が必要は62.1%と半数以上を占めた。

問 8. 新型コロナ感染症に関連した研修会へスタッフは参加しましたか？

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1024	60.7%
いいえ	545	32.3%
参加する予定	119	7.0%
合計	1688	100%



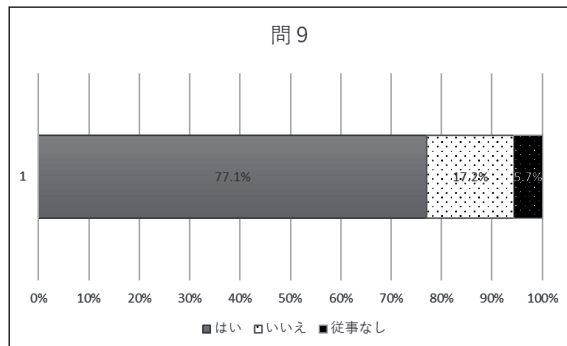
解説

研修会の参加は 60.7% である。

問 9. 感染予防対策や PPE の着脱など知識技術の不足を感じた事がありますか？ (複数選択可)

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1301	77.1%
いいえ	291	17.2%
従事なし	96	5.7%
合計	1688	100%



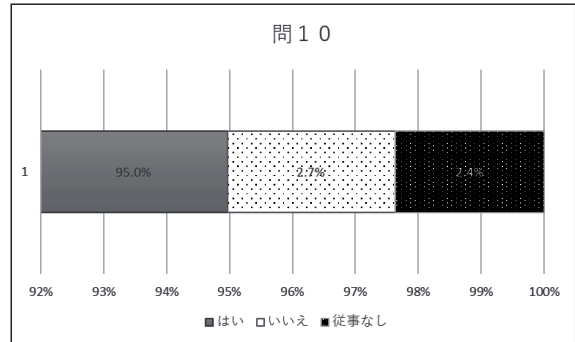
解説

感染予防対策などの知識技術不足を 77.1% の施設が感じている。

問10. 新型コロナ感染症の治療にあたる臨床工学技士の教育・研修は必要と思いますか？

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1603	95.0%
いいえ	45	2.7%
従事なし	40	2.4%
合計	1688	100%



解説

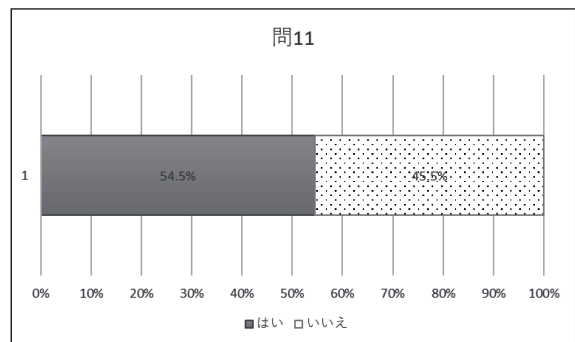
新型コロナ感染症の治療にあたる臨床工学技士の教育・研修は必要は 95% と多数を占めた。

問11. 新型コロナ患者 (疑い含む) を所属施設で受け入れはありましたか？

※いいえの場合→アンケートはこれで終了です。
ありがとうございました。

(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	920	54.5%
いいえ	768	45.5%
合計	1688	100%



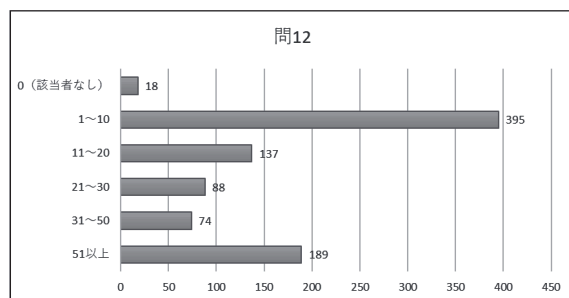
解説

新型コロナ患者 (疑い含む) は、調査時点では 920 施設、54.5% が受け入れている。

問12. 新型コロナ患者（疑い含む）を所属施設で受け入れた延べ人数を選んでください。

(有効回答数 901)

項目	n数	割合
0(該当者なし)	18	2.0%
1~10	395	43.8%
11~20	137	15.2%
21~30	88	9.8%
31~50	74	8.2%
51以上	189	21.0%
合計	901	100%



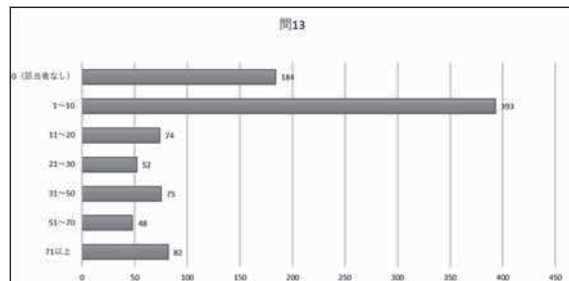
解説

受け入れた延べ人数は、調査時点では1～10が43.8%、51以上が21.0%と2峰性が見られた。特定の施設に集中して受け入れていることがうかがえる。

問13. 新型コロナ患者（疑い含む）に対応した臨床工学技士数と全臨床工学技士数の割合を選んでください。（%）

(有効回答数 908)

項目	n数	割合
0(該当者なし)	184	20.3%
1~10	393	43.3%
11~20	74	8.1%
21~30	52	5.7%
31~50	75	8.3%
51~70	48	5.3%
71以上	82	9.0%
合計	908	100%



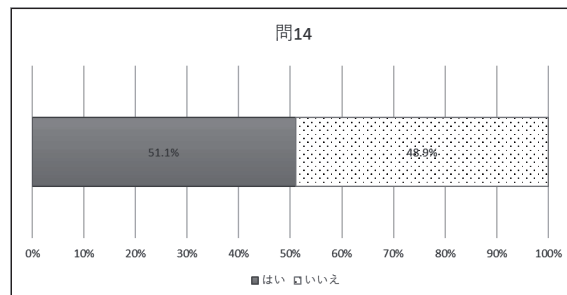
解説

対応した臨床工学技士は、0（該当者なし）は20.3%であり、受け入れてはいるが技士業務は発生していない。1～10%が43.3%と多く特定の技士に集中する傾向がある。

問14. 新型コロナウイルス感染症に関わるメンタルヘルスケアの体制はありますか？（相談窓口、ラウンド、面談など従来あるものでも可能）

(有効回答数 903)

項目	n数	割合
はい	461	51.1%
いいえ	442	48.9%
合計	903	100%



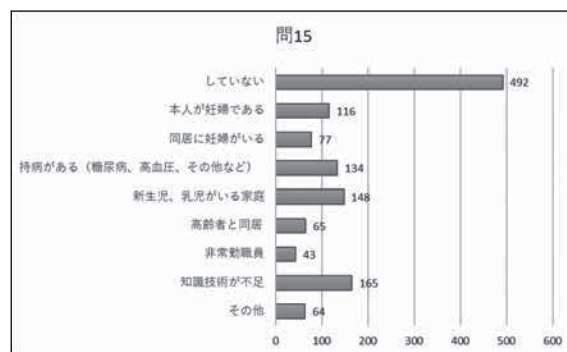
解説

新型コロナ患者（疑い含む）を受け入れている施設の51.1%にメンタルヘルスケアの体制がない。

問15. 新型コロナ感染症患者に対する業務で特定のスタッフを除外した場合は、理由を選んでください。（複数選択可）

(有効回答数 880)

項目	n数	割合
していない	492	37.7%
本人が妊婦である	116	8.9%
同居に妊婦がいる	77	5.9%
持病がある(糖尿病、高血圧、その他など)	134	10.3%
新生児、乳児がいる家庭	148	11.3%
高齢者と同居	65	5.0%
非常勤職員	43	3.3%
知識技術が不足	165	12.7%
その他	64	4.9%
合計	1304	100%



解説

特定のスタッフを除外した理由として、していない37.7%、知識技術が不足12.7%、新生児・乳児がいる家庭11.3%、持病がある10.3%、妊婦8.9%が多い。該当者がいないことが考えられる。妊婦、持病

がある場合は配慮が求められる。

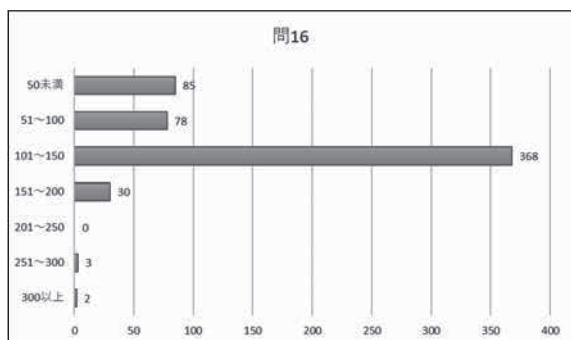
Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症の治療に対する各業務量の変化

問16. 通常時と比べた新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）対応時の業務時間の増加についてお聞きします。（対応している業務のみ回答してください）

透析業務（1）透析室で実施した通常の維持透析1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナウイルス感染症（疑い含む）対応時は何%となりますか（例：20%増は120、-30%は70と記載）

（有効回答数 566）

項目	n数	割合
50未満	85	15.0%
51～100	78	13.8%
101～150	368	65.0%
151～200	30	5.3%
201～250	0	0.0%
251～300	3	0.5%
300以上	2	0.4%
合計	566	100%



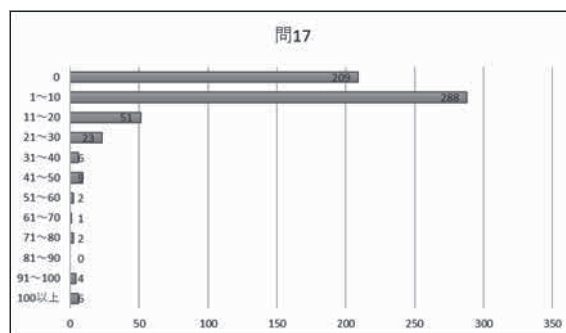
解説

透析室における維持透析は1件当たり101～150%程度通常の対応業務時間の増加を認めた（65.0%）が、一方で業務が減少した施設もあった（28.8%）。

問17. 透析業務（2）透析室で実施した新型コロナウイルス感染症（疑い含む）対応の維持透析のべ件数を記載してください。

（有効回答数 601）

項目	n数	割合
0	209	34.8%
1～10	288	47.9%
11～20	51	8.5%
21～30	23	3.8%
31～40	6	1.0%
41～50	9	1.5%
51～60	2	0.3%
61～70	1	0.2%
71～80	2	0.3%
81～90	0	0.0%
91～100	4	0.7%
100以上	6	1.0%
合計	601	100%



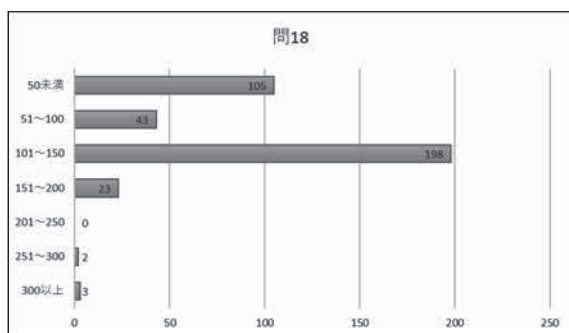
解説

透析室で実施した新型コロナウイルス感染症の維持透析は0件が209施設あり（34.8%）、1～10件は288施設であった（47.9%）。

問18. 集中治療領域透析（1） 集中治療領域で実施した通常の透析1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナウイルス感染症（疑い含む）対応時は何%となりますか（例：20%増は120，-30%は70と記載）

(有効回答数 374)

項目	n数	割合
50未満	105	28.1%
51~100	43	11.5%
101~150	198	52.9%
151~200	23	6.1%
201~250	0	0.0%
251~300	2	0.5%
300以上	3	0.8%
合計	374	100%



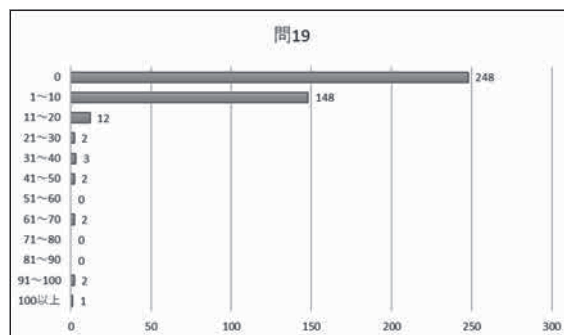
解説

集中治療領域における透析は1件当たり101～150%程度通常の対応業務時間の増加を認めた(52.9%)が、一方で業務が減少した施設もあった(39.6%)。

問19. 集中治療領域透析（2） 集中治療領域で実施した新型コロナウイルス感染症（疑い含む）対応の透析の件数を記載してください。

(有効回答数 420)

項目	n数	割合
0	248	59.0%
1~10	148	35.2%
11~20	12	2.9%
21~30	2	0.5%
31~40	3	0.7%
41~50	2	0.5%
51~60	0	0.0%
61~70	2	0.5%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	2	0.5%
100以上	1	0.2%
合計	420	100%



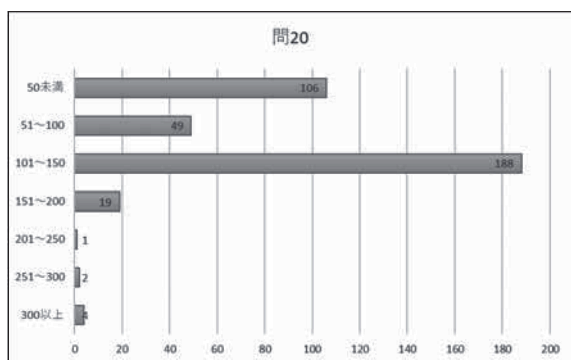
解説

透析室で実施した新型コロナウイルス感染症の維持透析は0件が多く(59.0%)、1～10件は148施設であった(35.2%)。

問20. 集中治療 CRRT (1) 集中治療領域で実施した通常の CRRT1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100%とした場合、新型コロナウイルス感染症(疑い含む) 対応時は何%となりますか(例: 20%増は 120, -30%は 70 と記載)

(有効回答数 369)

項目	n数	割合
50未満	106	28.7%
51~100	49	13.3%
101~150	188	50.9%
151~200	19	5.1%
201~250	1	0.3%
251~300	2	0.5%
300以上	4	1.1%
合計	369	100%



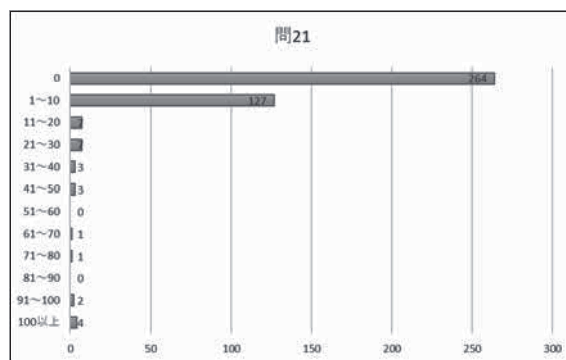
解説

集中治療領域における CRRT は 1 件当たり 101 ~ 150% 程度通常の対応業務時間の増加を認めた (50.9%) が、一方で業務が減少した施設もあった (42.0%) .

問21. 集中治療 CRRT (2) 集中治療領域で実施した新型コロナウイルス感染症(疑い含む) 対応の CRRT の件数を記載してください.

(有効回答数 419)

項目	n数	割合
0	264	63.0%
1~10	127	30.3%
11~20	7	1.7%
21~30	7	1.7%
31~40	3	0.7%
41~50	3	0.7%
51~60	0	0.0%
61~70	1	0.2%
71~80	1	0.2%
81~90	0	0.0%
91~100	2	0.5%
100以上	4	1.0%
合計	419	100%



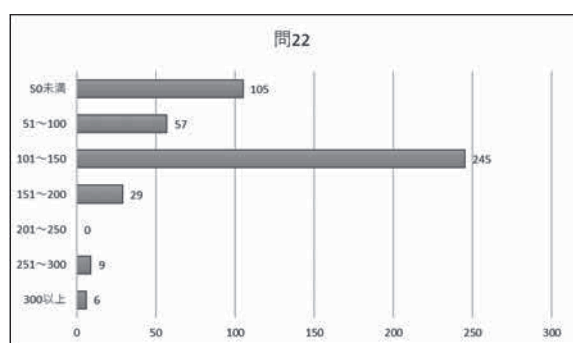
解説

集中治療領域で実施した新型コロナウイルス感染症の CRRT は 0 件が多く (63.0%), 1 ~ 10 件は 127 施設であった (30.3%) .

問22. 集中治療人工呼吸 (1) 集中治療領域で実施した通常の人工呼吸管理 1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100%とした場合、新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は 120, -30%は 70 と記載)

(有効回答数 451)

項目	n数	割合
50未満	105	23.3%
51~100	57	12.6%
101~150	245	54.3%
151~200	29	6.4%
201~250	0	0.0%
251~300	9	2.0%
300以上	6	1.3%
合計	451	100%



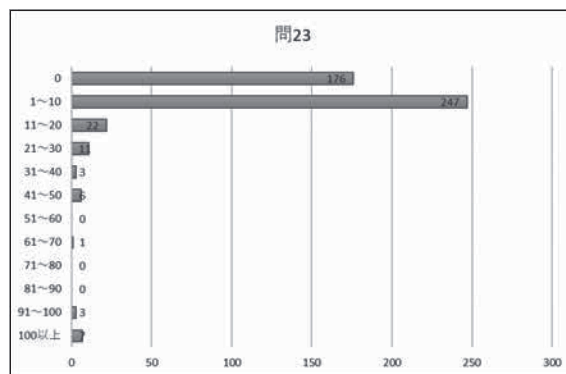
解説

集中治療領域における人工呼吸管理は 1 件当たり 101 ~ 150% 程度通常の対応業務時間の増加を認めた (54.3%) が、一方で業務が減少した施設もあった (35.9%)。

問23. 集中治療人工呼吸 (2) 集中治療領域で実施する新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時の人工呼吸管理のべ患者数を記載してください。

(有効回答数 476)

項目	n数	割合
0	176	37.0%
1~10	247	51.9%
11~20	22	4.6%
21~30	11	2.3%
31~40	3	0.6%
41~50	6	1.3%
51~60	0	0.0%
61~70	1	0.2%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	3	0.6%
100以上	7	1.5%
合計	476	100%

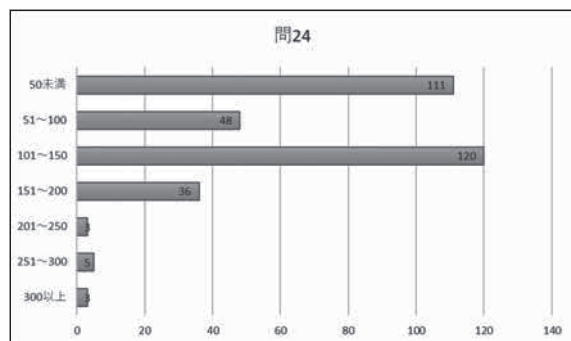


解説

集中治療領域で実施した新型コロナウイルス感染症の人工呼吸管理は 0 件が 176 施設あり (37.0%), 1 ~ 10 件は多くあった (51.9%)。

問24. ECMO (1) 通常のECMO1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナウイルス感染症(疑い含む)対応時は何%となりますか(例:20%増は120, -30%は70と記載)
(有効回答数 326)

項目	n数	割合
50未満	111	34.0%
51~100	48	14.7%
101~150	120	36.8%
151~200	36	11.0%
201~250	3	0.9%
251~300	5	1.5%
300以上	3	0.9%
合計	326	100%

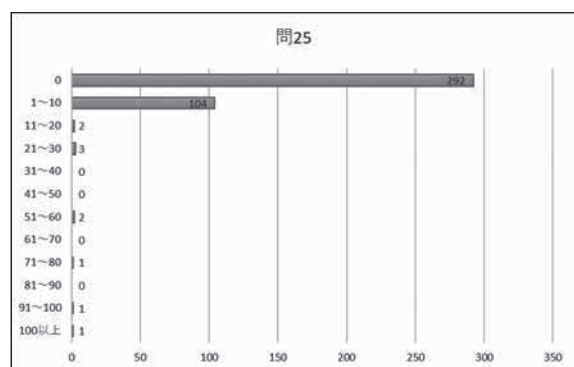


解説

ECMOは1件当たり101~150%程度通常の対応業務時間の増加を認めた(36.8%)が、50%未満減少した施設が同程度あった(34.0%)。

問25. ECMO (2) 新型コロナウイルス感染症(疑い含む)対応時のECMO管理のべ件数を記載してください。
(有効回答数 406)

項目	n数	割合
0	292	71.9%
1~10	104	25.6%
11~20	2	0.5%
21~30	3	0.7%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	2	0.5%
61~70	0	0.0%
71~80	1	0.2%
81~90	0	0.0%
91~100	1	0.2%
100以上	1	0.2%
合計	406	100%



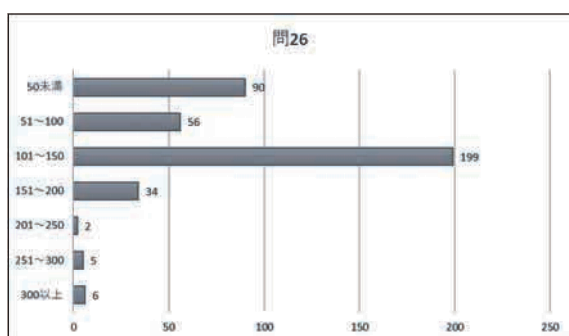
解説

新型コロナウイルス感染症のECMOは0件が多く(71.9%), 1~10件は104施設であった(25.6%)。

問26. 院内搬送人工呼吸 (1) 通常の院内搬送 (人工呼吸器装着患者) 1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100% とした場合, 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時は何% となりますか (例: 20% 増は 120, -30% は 70 と記載)

(有効回答数 392)

項目	n数	割合
50未満	90	23.0%
51~100	56	14.3%
101~150	199	50.8%
151~200	34	8.7%
201~250	2	0.5%
251~300	5	1.3%
300以上	6	1.5%
合計	392	100%



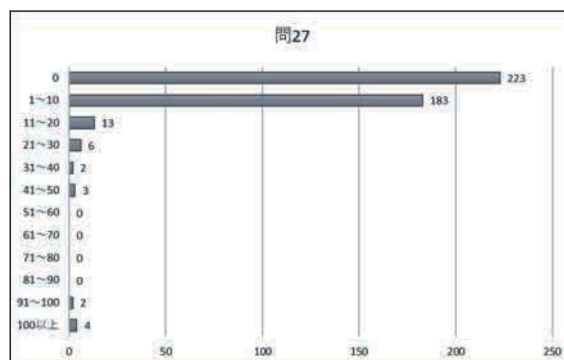
解説

院内における人工呼吸器装着患者の搬送は 1 件当たり 101 ~ 150% 程度通常の対応業務時間の増加を認めた (50.8%) が, 一方で業務が減少した施設もあった (37.3%).

問27. 院内搬送人工呼吸 (2) 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時の院内搬送 (人工呼吸器装着患者) の件数を記載してください.

(有効回答数 436)

項目	n数	割合
0	223	51.1%
1~10	183	42.0%
11~20	13	3.0%
21~30	6	1.4%
31~40	2	0.5%
41~50	3	0.7%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	2	0.5%
100以上	4	0.9%
合計	436	100%



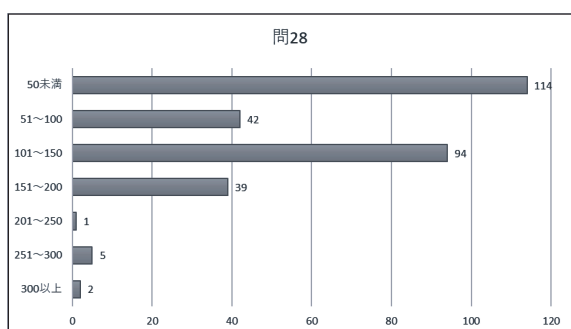
解説

新型コロナウイルス感染症の人工呼吸器装着患者院内搬送は 0 件が 223 施設あり (51.1%), 1 ~ 10 件は 183 施設であった (42.0%).

問28. 院内搬送 (ECMO) (1) 通常の院内搬送 (ECMO 装着患者) 1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100%とした場合, 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は 120, -30%は 70 と記載)

(有効回答数 297)

項目	n数	割合
50未満	114	38.4%
51~100	42	14.1%
101~150	94	31.6%
151~200	39	13.1%
201~250	1	0.3%
251~300	5	1.7%
300以上	2	0.7%
合計	297	100%



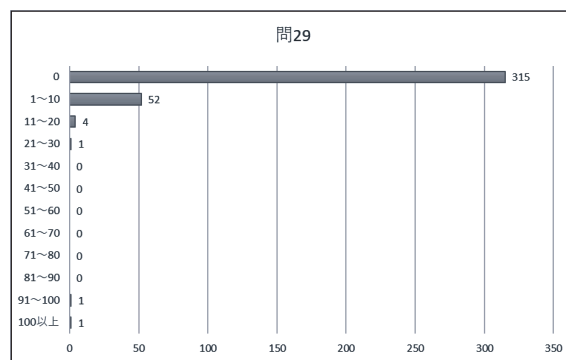
解説

院内における ECMO 装着患者の搬送は 1 件当たり 101 ~ 150% 程度通常の対応業務時間の増加を認め (31.6%), 151 ~ 200% 程度対応業務時間の増加も認めた (13.1%). 一方で 50% 未満業務が減少した施設もあった (38.4%).

問29. 院内搬送 (ECMO) (2) 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時の院内搬送 (ECMO 装着患者) の件数を記載してください.

(有効回答数 374)

項目	n数	割合
0	315	84.2%
1~10	52	13.9%
11~20	4	1.1%
21~30	1	0.3%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	1	0.3%
100以上	1	0.3%
合計	374	100%



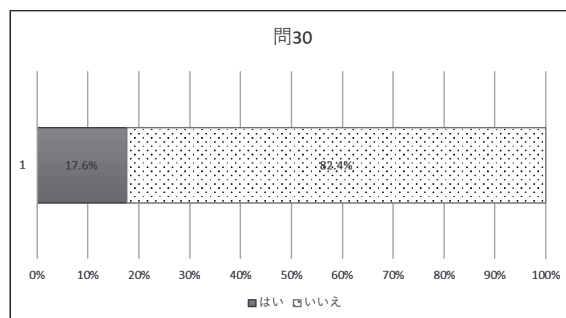
解説

新型コロナウイルス感染症の院内搬送は 0 件が多く (84.2%), 1 ~ 10 件は 52 施設であった (13.9%).

問30. 院外搬送 (1) 新型コロナ患者 (疑い含む) における院外搬送業務はありましたか?

(有効回答数 706)

項目	n数	割合
はい	124	17.6%
いいえ	582	82.4%
合計	706	100%



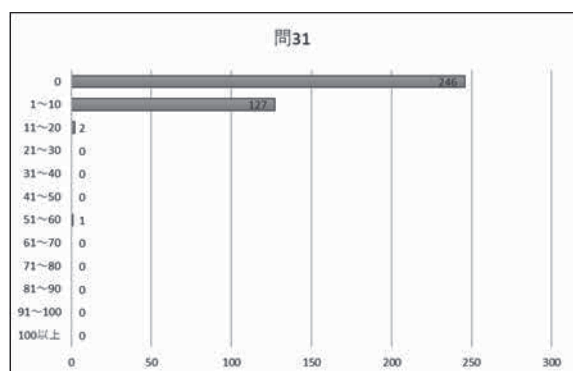
解説

新型コロナウイルス感染症の ECMO 装着患者院外搬送が 124 施設であった (17.6%).

問31. 院外搬送 (3) 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応の件数を記載してください.

(有効回答数 376)

項目	n数	割合
0	246	65.4%
1~10	127	33.8%
11~20	2	0.5%
21~30	0	0.0%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	1	0.3%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	0	0.0%
100以上	0	0.0%
合計	376	100%



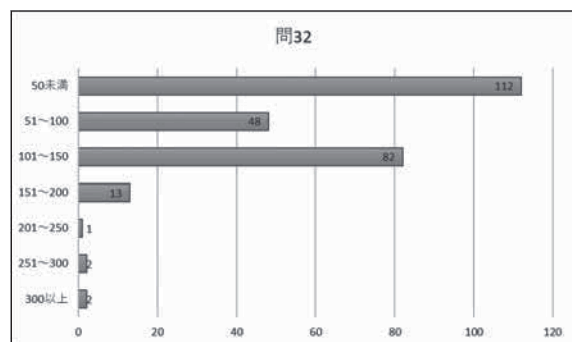
解説

新型コロナウイルス感染症の院外搬送 (3) は 0 件が多く (65.4%), 1 ~ 10 件は 127 施設であった (33.8%).

問32. 人工心肺業務 (1) 通常的人工心肺 1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100% とした場合, 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は 120, -30%は 70 と記載)

(有効回答数 260)

	n数	割合
50未満	112	43.1%
51~100	48	18.5%
101~150	82	31.5%
151~200	13	5.0%
201~250	1	0.4%
251~300	2	0.8%
300以上	2	0.8%
合計	260	100%

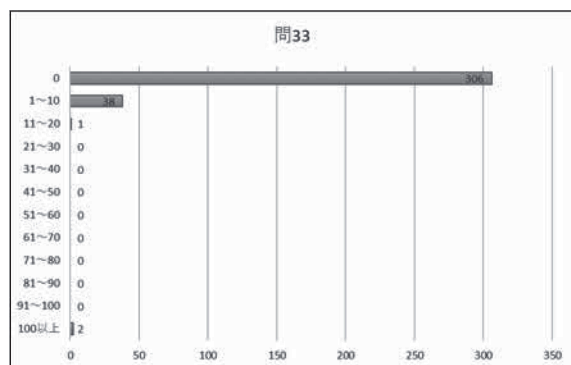


解説

新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時における人工心肺業務は, 50%未満業務が減少した施設が最も多く (43.1%), ついで 101 ~ 150% 程度の対応業務時間の増加を認めたものが多かった (31.5%).

問33. 人工心肺業務 (2) 新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時の人工心肺の件数を記載してください。
(有効回答数 347)

項目	n数	割合
0	306	88.2%
1~10	38	11.0%
11~20	1	0.3%
21~30	0	0.0%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	0	0.0%
100以上	2	0.6%
合計	347	100%



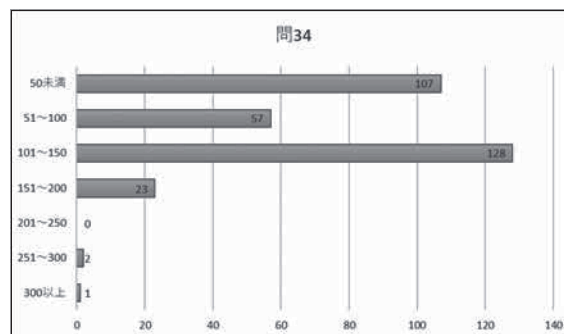
解説

人工心肺業務における新型コロナ感染症(疑い含む)対応件数は、0件が最も多く(82.2%)、1~10件対応した施設が38施設(11.0%)であった。

問34. 手術業務 (1) 通常の手術1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナ感染症(疑い含む)対応時は何%となりますか(例:20%増は120,-30%は70と記載)

(有効回答数 318)

項目	n数	割合
50未満	107	33.6%
51~100	57	17.9%
101~150	128	40.3%
151~200	23	7.2%
201~250	0	0.0%
251~300	2	0.6%
300以上	1	0.3%
合計	318	100%



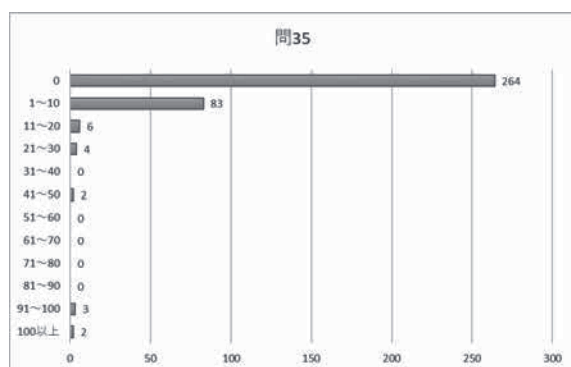
解説

手術室業務における新型コロナ感染症(疑い含む)対応業務時間は、101~150%程度通常の対応業務時間の増加を認めたが最も多く(40.3%)、業務が減少した施設が次に多かった(33.6%)。

問35. 手術業務 (2) 新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時の手術の件数を記載してください.

(有効回答数 364)

項目	n数	割合
0	264	72.5%
1~10	83	22.8%
11~20	6	1.6%
21~30	4	1.1%
31~40	0	0.0%
41~50	2	0.5%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	3	0.8%
100以上	2	0.5%
合計	364	100%



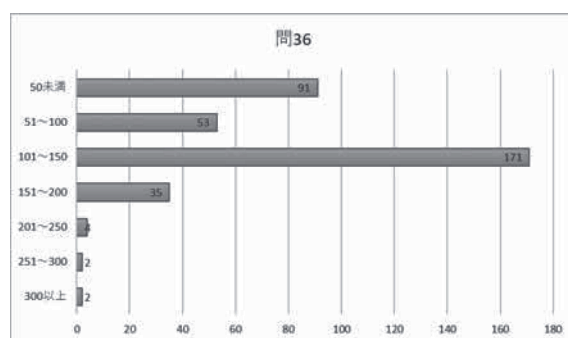
解説

手術室業務における延件数は、0件が約7割を占め、83施設 (22.8%) が1~10件の対応を行なった。

問36. 心血管カテーテル業務 (1) 通常的心血管カテーテル業務1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は120, -30%は70と記載)

(有効回答数 358)

項目	n数	割合
50未満	91	25.4%
51~100	53	14.8%
101~150	171	47.8%
151~200	35	9.8%
201~250	4	1.1%
251~300	2	0.6%
300以上	2	0.6%
合計	358	100%



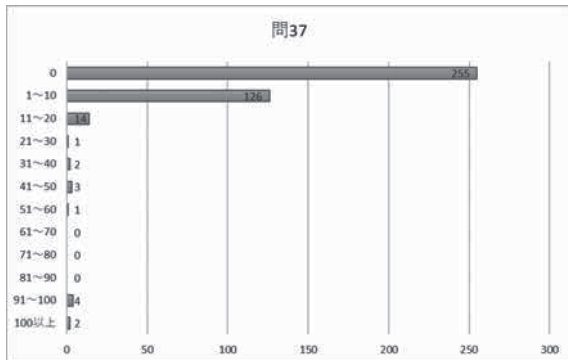
解説

心血管カテーテル業務における新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応業務時間は、101~150%程度通常に対応業務時間の増加を認めたが最も多く (47.8%), 50%未満業務が減少した施設が次に多かった (25.4%)。

問37. 心血管カテーテル業務 (2) 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時の心血管カテーテル業務の件数を記載してください。

(有効回答数 408)

項目	n数	割合
0	255	62.5%
1~10	126	30.9%
11~20	14	3.4%
21~30	1	0.2%
31~40	2	0.5%
41~50	3	0.7%
51~60	1	0.2%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	4	1.0%
100以上	2	0.5%
合計	408	100%



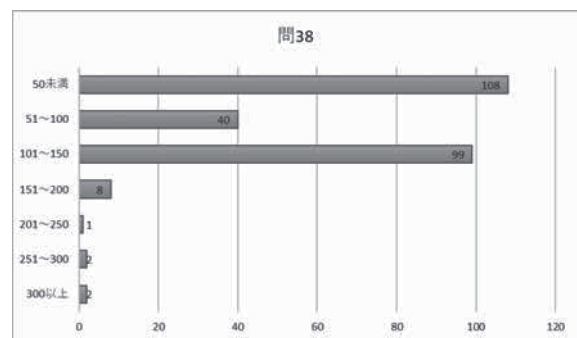
解説

手術室業務における延件数は、0件が約6割で、次に多かったのは1~10件の対応を行なった126施設 (30.9%) であった。

問38. 内視鏡業務 (1) 通常の内視鏡業務1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は120, -30%は70と記載)

(有効回答数 260)

項目	n数	割合
50未満	108	41.5%
51~100	40	15.4%
101~150	99	38.1%
151~200	8	3.1%
201~250	1	0.4%
251~300	2	0.8%
300以上	2	0.8%
合計	260	100%

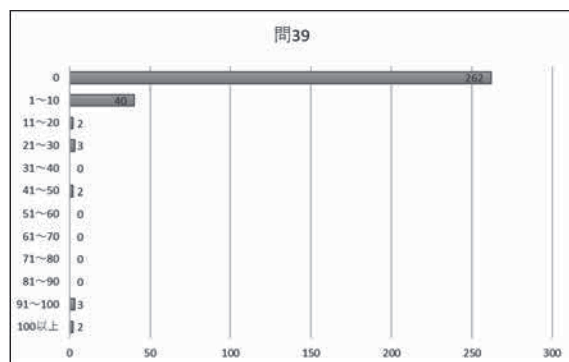


解説

内視鏡業務における新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応業務時間は、101~150%程度通常の対応業務時間の増加を認めたもの(38.1%)と、50%未満業務が減少した施設 (41.5%) がほぼ同数の施設であった。

問39. 内視鏡業務 (2) 新型コロナウイルス感染症 (疑い含む) 対応時の内視鏡業務のべ件数を記載してください。
(有効回答数 314)

項目	n数	割合
0	262	83.4%
1~10	40	12.7%
11~20	2	0.6%
21~30	3	1.0%
31~40	0	0.0%
41~50	2	0.6%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	3	1.0%
100以上	2	0.6%
合計	314	100%



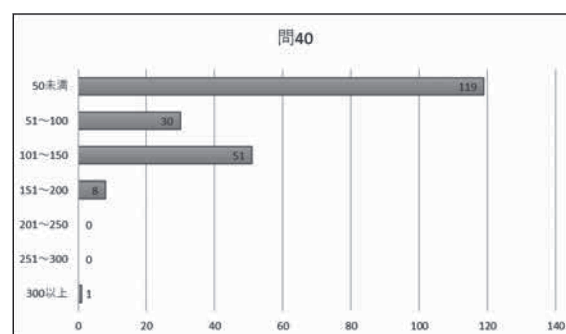
解説

内視鏡業務における延件数は、0件が262施設(83.4%)一番多く、40施設(12.7%)の施設が1~10件の対応を行なった。

問40. 高気圧酸素業務 (1) 通常の高気圧酸素業務 1件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を100%とした場合、新型コロナウイルス感染症(疑い含む)対応時は何%となりますか(例:20%増は120,-30%は70と記載)

(有効回答数 209)

項目	n数	割合
50未満	119	56.9%
51~100	30	14.4%
101~150	51	24.4%
151~200	8	3.8%
201~250	0	0.0%
251~300	0	0.0%
300以上	1	0.5%
合計	209	100%



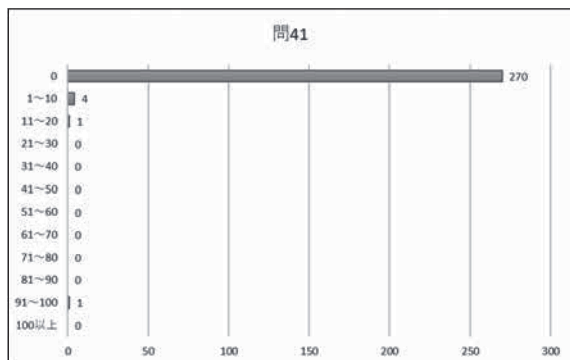
解説

高気圧酸素業務における新型コロナウイルス感染症(疑い含む)対応業務時間は、50%未満業務が減少した施設(56.9%)が多く、次に101~150%程度通常の対応業務時間の増加を認めた51施設(24.4%)であったが、151~200%増加した施設も8施設(3.8%)もみられた。

問41. 高気圧酸素業務 (2) 新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時の高気圧酸素業務のべ件数を記載してください。

(有効回答数 276)

項目	n数	割合
0	270	97.8%
1~10	4	1.4%
11~20	1	0.4%
21~30	0	0.0%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	0	0.0%
81~90	0	0.0%
91~100	1	0.4%
100以上	0	0.0%
合計	276	100%



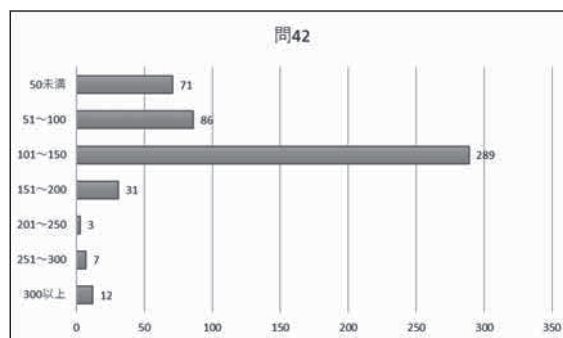
解説

高気圧酸素業務におけるのべ件数は、0 件が 270 施設 (97.8%) と一番多く、高気圧酸素業務を対応した施設はのべ 6 施設 (2.2%) であった。

問42. 医療機器管理 (1) 点検通常の医療機器点検 1 件当たりの準備から消毒点検終了までの対応時間を 100%とした場合、新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時は何%となりますか (例: 20%増は 120, -30%は 70 と記載)

(有効回答数 499)

項目	n数	割合
50未満	71	14.2%
51~100	86	17.2%
101~150	289	57.9%
151~200	31	6.2%
201~250	3	0.6%
251~300	7	1.4%
300以上	12	2.4%
合計	499	100%



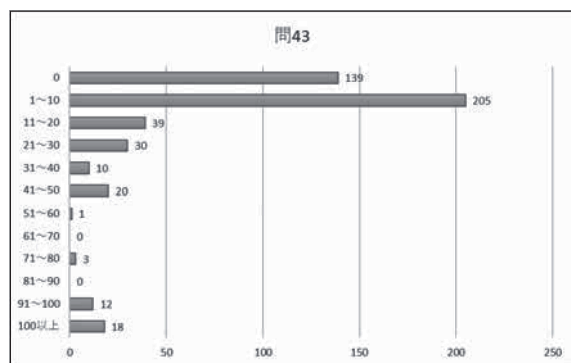
解説

医療機器管理において、点検 1 件当たりの準備から消毒点検終了における新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応業務時間は、101 ~ 150% 程度通常の対応業務時間の増加を認めた 289 施設 (57.9%) が最も多く、業務が減少した施設 (31.4%) が次に多く、なかには 300% 以上の増加を認めた 12 施設 (2.4%) もみられた。

問43. 医療機器管理 (2) 新型コロナ感染症 (疑い含む) 対応時の医療機器管理業務のべ件数を記載してください。

(有効回答数 477)

項目	n数	割合
0	139	29.1%
1~10	205	43.0%
11~20	39	8.2%
21~30	30	6.3%
31~40	10	2.1%
41~50	20	4.2%
51~60	1	0.2%
61~70	0	0.0%
71~80	3	0.6%
81~90	0	0.0%
91~100	12	2.5%
100以上	18	3.8%
合計	477	100%



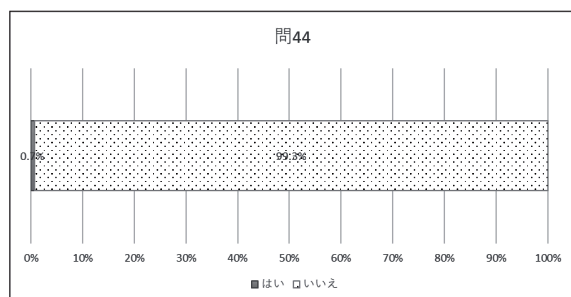
解説

医療機器管理におけるのべ件数は、0件～10件未満が344施設(72.1%)と一番多く、11件～50件未満が99施設(20.8%)あり、91～100件以上は30施設(6.3%)であった。

問44. 在宅業務 (1) 新型コロナ患者 (疑い含む) における在宅関連業務はありましたか？

(有効回答数 602)

項目	n数	割合
はい	4	0.7%
いいえ	598	99.3%
合計	602	100%



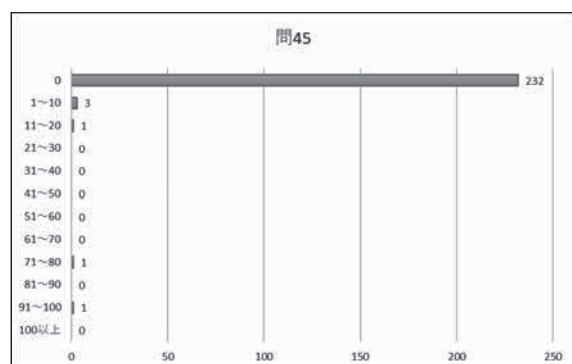
解説

在宅関連業務を行なった施設は4施設(0.7%)であった。

問45. 在宅業務 (3) 新型コロナ患者 (疑い含む) 対応のべ件数を記載してください。

(有効回答数 238)

項目	n数	割合
0	232	97.5%
1~10	3	1.3%
11~20	1	0.4%
21~30	0	0.0%
31~40	0	0.0%
41~50	0	0.0%
51~60	0	0.0%
61~70	0	0.0%
71~80	1	0.4%
81~90	0	0.0%
91~100	1	0.4%
100以上	0	0.0%
合計	238	100%



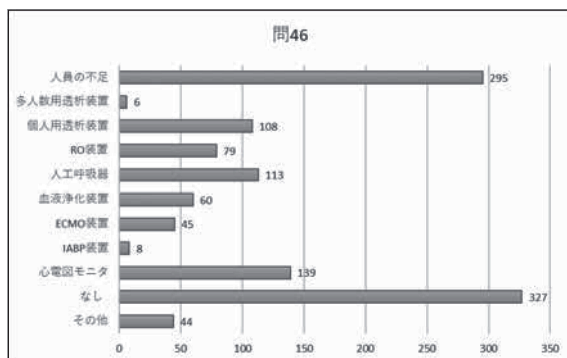
解説

在宅業務におけるのべ件数は、0件が97.5%であったが、1件～20件が4施設(1.7%)、71件～80件と91件～100件がそれぞれ1施設(0.4%)であった。

問46. 新型コロナ患者の対応時の不足はありましたか (PPE 関連を除く) (複数選択可)

(有効回答数 774)

項目	n数	割合
人員の不足	295	24.1%
多人数用透析装置	6	0.5%
個人用透析装置	108	8.8%
RO装置	79	6.5%
人工呼吸器	113	9.2%
血液浄化装置	60	4.9%
ECMO装置	45	3.7%
IABP装置	8	0.7%
心電図モニタ	139	11.4%
なし	327	26.7%
その他	44	3.6%
合計	1224	100%



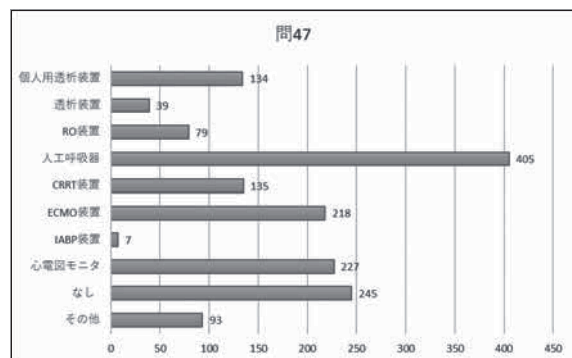
解説

新型コロナ患者の対応時の不足については、人員の不足が295施設(24.1%)と全体の1/4を占め、透析関連が253施設(20.7%)で心電図モニタ139施設(11.4%)、人工呼吸器113施設(9.2%)の順であった。

問47. 新型コロナ感染症対策の補助金で購入申請した医療機器はありますか (複数選択可)

(有効回答数 798)

項目	n数	割合
個人用透析装置	134	8.5%
透析装置	39	2.5%
RO装置	79	5.0%
人工呼吸器	405	25.6%
CRRT装置	135	8.5%
ECMO装置	218	13.8%
IABP装置	7	0.4%
心電図モニタ	227	14.3%
なし	245	15.5%
その他	93	5.9%
合計	1582	100%



解説

新型コロナ感染症対策の補助金で購入申請した医療機器について一番多かったのは人工呼吸器405施設(25.6%)ついで心電図モニタ227施設(14.3%)、ECMO装置218施設(13.8%)であった。血液浄化関連では個人用透析装置134施設(8.5%)、CRRT装置135施設(8.5%)が多く見られた。

IV. 寄せられたご意見

- ・アンケート項目の対象が施設全体なのか臨床工学技士のみなのかわかりにくい。

委員会の検討結果

ご意見ありがとうございました。次回からアンケート設問に説明をいれて対象を明確にいたします。

調査統計委員会

石井 宣大 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
内田 隆央 (医) 静正会 三井クリニック
後藤 武 弘前大学医学部附属病院
杉浦 正人 関西医科大学香里病院
丹木 義和 東京医科大学八王子医療センター
塚野 雅幸 長崎みなとメディカルセンター
久行 菜帆 医療法人中央内科クリニック
南 彩 城北病院

調査統計委員会担当理事

五十嵐茂幸 福井県済生会病院